

## 話題 阿瀬家住宅が国登録有形文化財に登録されます

中々町にある「阿瀬家住宅 主屋・米蔵・道具蔵」が、国の登録有形文化財（建造物）に登録されることが決まりました。

阿瀬家住宅は、かつて漁網製造業を営んでいた大型の町家で、江戸時代末期に建てられた主屋は、明治時代の終わりに大規模な増築をして現在の外観になりました。主屋の背後に建つ米蔵と道具蔵は、一体の大屋根をかけて並び立つ土蔵で、それぞれ主屋と同時期の江戸時代末期の建物と推定されています。

湯浅にとって醤油・金山寺味噌と並ぶ主要な産業であった漁網製造業に関連するものとして、また伝建地区外の町並み景観を構成する重要な要素として評価されました。

今回の登録により、湯浅町の国登録有形文化財（建造物）は、10件（4カ所）となる見込みです。



阿瀬家住宅 主屋

## 話題 旧栖原家住宅が和歌山県指定文化財に指定されました

旧栖原家住宅は、明治7年に湯浅屈指の醤油醸造家である久保家によって建設され、フジイチの屋号で醸造をはじめた建物です。明治39年に栖原家が屋号とともに事業を引き継ぎ、昭和57年まで醤油醸造業を営んできました。

このうち主屋は、明治初期の湯浅の伝統的な町家形式を残しています。大規模で上質な作りは、湯浅の伝建地区に所在する町家建築のひとつの到達点を示す建築として貴重であると評価されました。敷地内に建つ2棟の土蔵とあわせて、湯浅の醤油醸造の歴史を伝え、伝建地区の景観に大きく寄与しているものとして、新たに和歌山県指定文化財に指定されることになりました。



旧栖原家住宅 主屋



旧栖原家住宅 土蔵・文庫蔵

## 話題 醤油発祥の地をPR 大相撲春場所にて 湯浅町長賞を贈呈

3月26日㊤、大相撲春場所優勝力士である関脇霧馬山鐵雄氏に湯浅町長賞を贈呈しました。

湯浅町長賞の贈呈にあたり、ご支援ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。



湯浅町長賞贈呈の様子

## 話題 湯浅町地域活性化セミナーを開催しました

4月10日㊤、湯浅町役場なぎホールにて湯浅町地域活性化セミナーを開催しました。

講師には、和歌山大学副学長 足立基浩氏をお迎えし、「今後の湯浅町を目指す姿について」と題して、これまでの経験や他の市町村の事例などを交え、ご講演いただきました。



## 話題 湯浅駅旧駅舎オープン記念イベント 5月14日㊤開催



### 湯浅駅旧駅舎前

■大道芸人によるパフォーマンス 12時～13時

出演者



ばびぶべBON  
[パルーン]



マジ大道芸人ハマー  
[ジャグリング]



エンターティナー  
ミキヤ  
[マジック]

■観光協会ブース 11時～14時

スライム作り体験など

■餅まき 11時

### 駅前なぎ広場

■キッチンカー 11時～17時

メニュー

ピザ、たこ焼き、  
パニーニ、カヌレ、  
クレープ、ジェラート等

※当日は駐車場の混雑が予想されますので、できる限り自転車や徒歩でお越しください。

※天候等により内容が変更となる場合があります。

問 政策企画課政策企画係 ⑮番窓口

TEL 63-2552